

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード 413	施策 配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業 家庭児童相談事業	所管部局 児童部

1	所管室課 家庭児童相談室	事業名 家庭児童相談事業	
事業概要 子育て短期支援、子ども見守り家庭訪問、育児支援家庭訪問、児童虐待防止対策、親支援プログラム			
活動実績			
【面談率向上のための会計年度任用職員配置による拡充】			
(1)児童虐待防止対策事業 増加し続ける家庭児童相談に迅速かつ適切に対応するため、社会福祉士などの専門職を確保し、子ども家庭総合支援拠点を設置するなど、相談体制の強化を図った。 ・家庭児童相談件数 平成30年度(1,317件)、令和元年度(1,444件)、令和2年度(1,630件)	年度 決算額(千円)	令和2年度 5,156	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	一般財源の比率(%)	39.0	
(2)子ども見守り家庭訪問事業 引き続き、面談率の向上のため、会計年度任用職員を配置するも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず民生・児童委員、主任児童委員による家庭訪問を一時的に中止した。 ・民生・児童委員、主任児童委員等の家庭訪問における面談率(保健師による新生児訪問を除く) 平成30年度(56.4%)、令和元年度(55.6%)、令和2年度(3.4%)	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 家庭児童相談件数が依然として増加傾向にあることから、引き続き、職員を確保し、相談体制を強化していくとともに、関係機関とより密に連携し、児童虐待の早期発見、早期対応に努める。 子ども見守り家庭訪問事業については、面談率の向上に向けた取組を進めながら、保健センターとの連携や事業のあり方を改めて検討する必要がある。		

	所管室課	事業名	
事業概要			
活動実績			
	年度 決算額(千円)	令和2年度	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
	一般財源の比率(%)		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	

	所管室課	事業名	
事業概要			
活動実績			
	年度 決算額(千円)	令和2年度	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
	一般財源の比率(%)		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	

上記以外の予算事業

※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名